

# 資料編

# 資料編目次

---

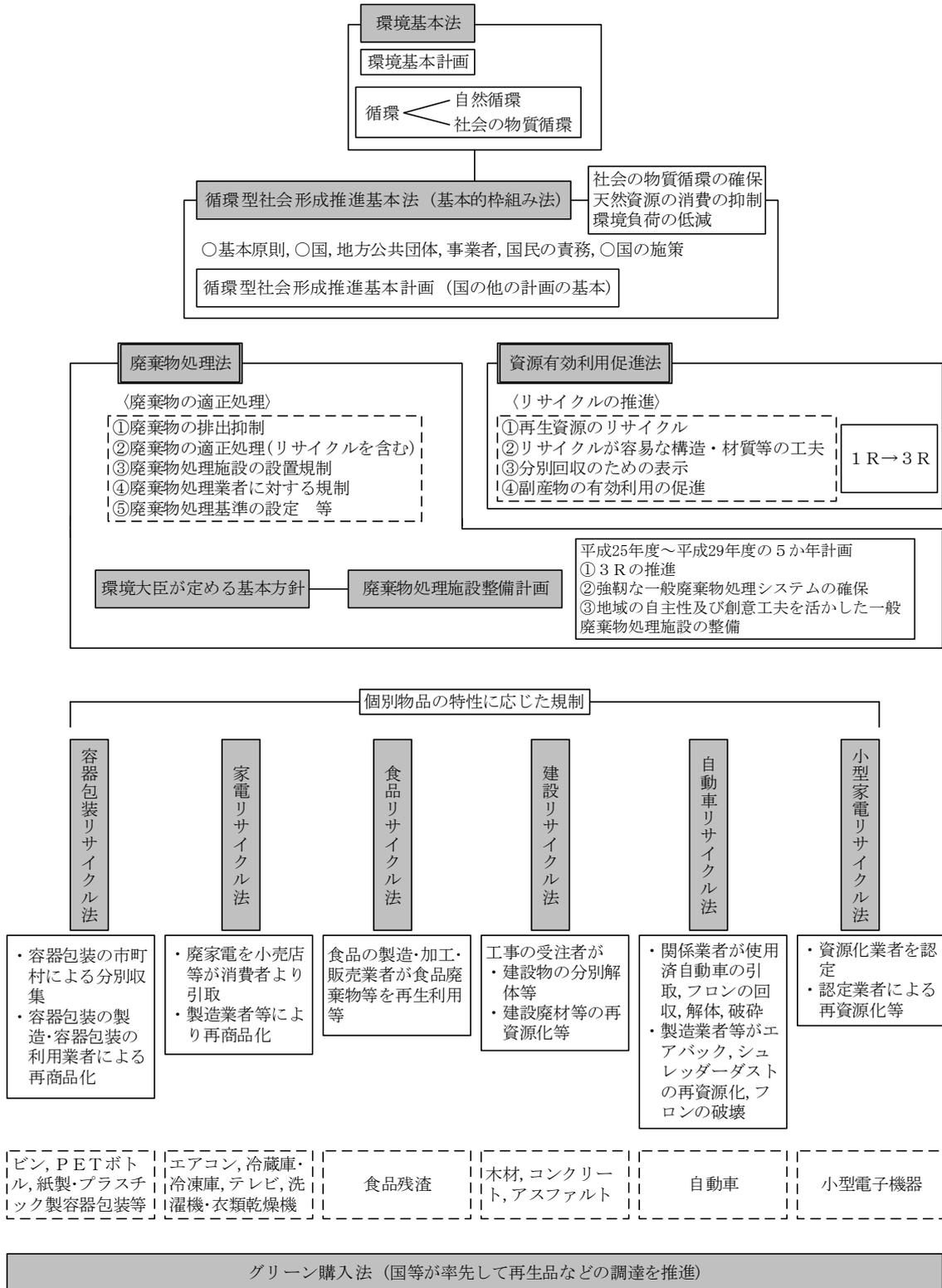
---

資料 1 計画の基本的な条件	45
1. 計画推進のための法体系	45
2. 地域の概況	46
資料 2 ごみ処理の現状	52
1. ごみ処理の現状	52
2. 県内自治体との比較	78
3. 前計画施策の進捗状況	96
資料 3 ごみ排出量の実績と目標	102
1. ごみ排出量の将来予測	102
2. ごみ排出量の実績と目標	122
資料 4 その他	124
1. プラスチックに関するアンケート調査結果	124
2. つくば市一般廃棄物減量等推進審議会資料	138

# 資料 1 計画の基本的な条件

## 1. 計画推進のための法体系

循環型社会形成に向けた法体系は次に示すとおりです。



資図 1-1 循環型社会の形成と推進のための法体系

## 2. 地域の概況

### 1) 位置と地勢

本市は、茨城県の南西部に位置し、人口 22 万人、面積 284km<sup>2</sup> に及びます。日本を代表する研究学園都市であり、多くの国と企業の研究機関が集積する一方、水郷筑波国定公園にも指定されている名峰「筑波山」や豊穡な農作物など四季を通じて豊かな自然も備えています。充実した都市機能・豊かな緑が調和した住環境と、東京まで 50km、つくばエクスプレスで 45 分、さらには成田空港まで接続される圏央道といった好アクセスがあいまって、人口増加を続ける活力ある都市です。

また、ノーベル賞受賞者も生まれる世界有数の科学都市であると同時に、筑波山を中心とする貴重な自然と万葉集や常陸国風土記にも示された歴史・文化を有するもの他に類を見ない特徴です。

さらに、現在は「つくば国際戦略総合特区」に指定され、次世代がん治療 (BNCT)、生活支援ロボット、藻類バイオマスエネルギー、世界的ナノテク拠点の形成、生物医学資源を基盤とする革新的医薬品や医療技術の開発、核医学検査薬、ロボット医療機器・技術などについてプロジェクトを進めています。併せて「つくばモビリティロボット実験特区」や「環境モデル都市」としての取り組みを推進し、国の成長戦略、ひいては人類の幸せな未来に貢献することを目指しています。



資図 1-2 本市の位置

## 2) 気象

過去5年間(平成22～26年)における気象状況(アメダスつくば(館野)観測所)の平均値は資表1-1及び資図1-3に示すとおりです。

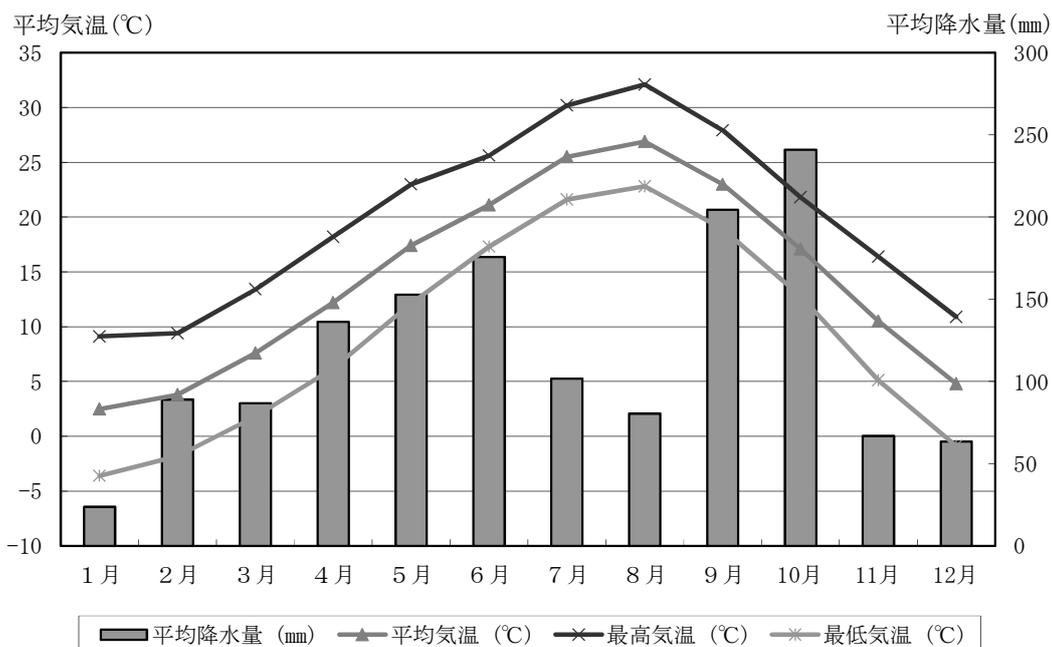
気候については、過去5年間の年間平均気温が14.4℃と温暖な地域となっています。

降雪は年に2～3回程度で生活にはほとんど影響を及ぼしていません。また、冬季に吹く「筑波おろし」と呼ばれる乾いた冷たい風は、筑波山南部地域の特徴となっています。

資表1-1 過去5年間(H22～H26)における気象状況  
(アメダスつくば(館野)観測所)

	平均降水量 (mm)	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)
1月	23.8	2.5	9.1	-3.6
2月	89.1	3.8	9.4	-1.8
3月	86.8	7.6	13.4	1.8
4月	136.3	12.2	18.2	6.2
5月	152.7	17.4	23.0	12.1
6月	175.7	21.1	25.6	17.3
7月	101.7	25.5	30.2	21.6
8月	80.4	26.9	32.1	22.8
9月	204.4	23.0	27.9	18.9
10月	241.1	17.1	21.8	12.8
11月	66.8	10.5	16.4	5.1
12月	63.6	4.8	10.9	-0.9
平均	1,422.4	14.4	19.8	9.3

資料：気象庁



資図1-3 過去5年間(H22～H26)における気象状況  
(アメダスつくば(館野)観測所)

### 3) 人口

#### (1) 人口の推移

人口・世帯数の推移は資表 1-2, 資図 1-4 に示すとおりです。

人口, 世帯数ともに増加傾向が続いており, 平成 26 年度の人口は 220, 135 人となっています。外国人登録者数も多く総人口の 3%以上を占めています。

世帯人数については, 全国的な傾向と同様に減少傾向にあり, 核家族化が進行している状況が伺えます。

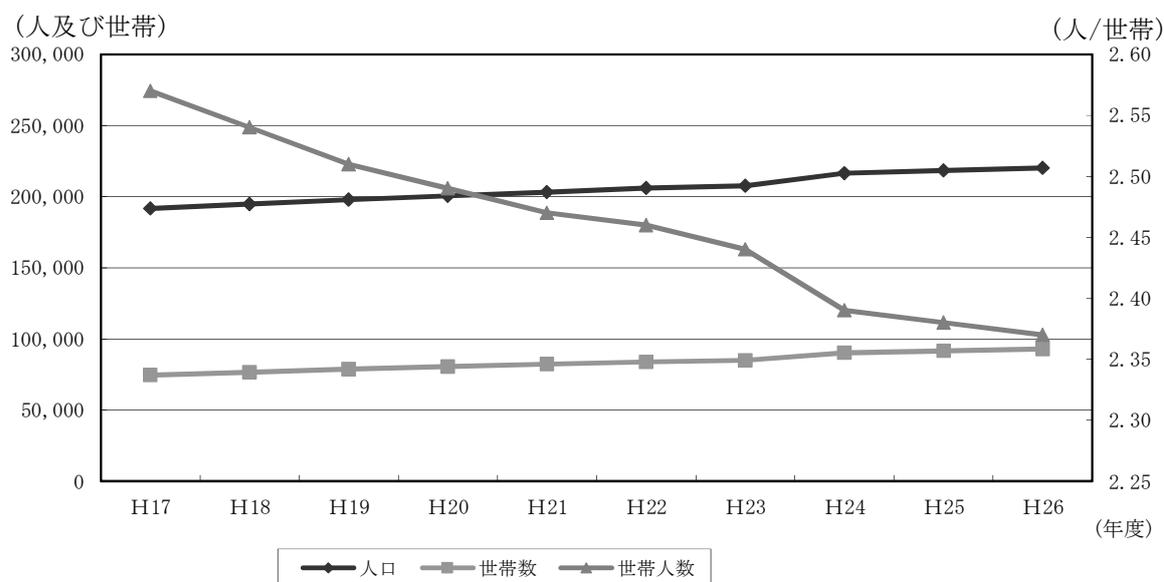
資表 1-2 人口・世帯数の推移

(単位：人)

	人 口			外国人 登録者	世帯数 (世帯)	世帯人数 (人/世帯)
	男	女	計			
H17	98,338	93,244	191,582	7,292	74,656	2.57
H18	99,837	94,815	194,652	6,974	76,635	2.54
H19	101,509	96,344	197,853	7,154	78,778	2.51
H20	102,820	97,608	200,428	7,328	80,488	2.49
H21	104,262	98,991	203,253	7,537	82,281	2.47
H22	105,634	100,472	206,106	7,842	83,872	2.46
H23	106,313	101,315	207,628	7,577	84,983	2.44
H24	110,463	105,868	216,331	7,081	90,338	2.39
H25	111,348	107,070	218,418	7,152	91,615	2.38
H26	112,057	108,078	220,135	7,393	92,890	2.37

注) H23までの人口・世帯数・外国人登録者数は「住民基本台帳 (10月1日現在)」世帯数は, 外国人登録者を含んでいません。

資料：住民基本台帳 (10月1日)



資図 1-4 人口・世帯数の推移

(2) 年齢階級別人口

平成26年10月1日現在における年齢5歳階級別人口構成は資表1-3及び資図1-5に示すとおりです。

人口構成は、茨城県全体と比べ、若い世代が多いことが大きな特徴です。

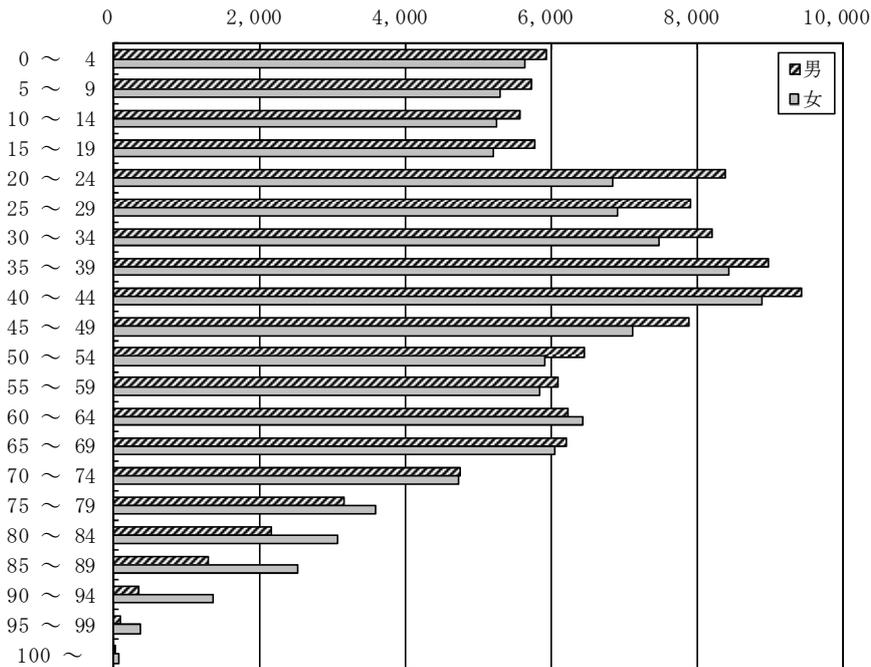
資表1-3 年齢5歳階級別人口構成

平成26年10月1日現在(単位:人)

		男	女	計	構成比 (%)	茨城県	構成比 (%)
年少人口	0～4	5,935	5,649	11,584	5.2	116,381	4.0
	5～9	5,731	5,307	11,038	5.0	123,261	4.2
	10～14	5,580	5,260	10,840	4.9	136,571	4.7
	計	17,246	16,216	33,462	15.1	376,213	12.9
生産年齢人口	15～19	5,785	5,216	11,001	5.0	143,351	4.9
	20～24	8,394	6,856	15,250	6.9	137,570	4.7
	25～29	7,912	6,912	14,824	6.7	142,677	4.9
	30～34	8,221	7,494	15,715	7.1	165,770	5.7
	35～39	8,997	8,451	17,448	7.9	192,549	6.6
	40～44	9,444	8,909	18,353	8.3	218,545	7.5
	45～49	7,900	7,136	15,036	6.8	189,662	6.5
	50～54	6,472	5,930	12,402	5.6	176,285	6.0
	55～59	6,098	5,861	11,959	5.4	188,453	6.5
	60～64	6,248	6,447	12,695	5.7	225,820	7.7
計	75,471	69,212	144,683	65.4	1,780,682	61.0	
老年人口	65～69	6,222	6,052	12,274	5.6	215,798	7.4
	70～74	4,768	4,749	9,517	4.3	185,626	6.4
	75～79	3,171	3,604	6,775	3.1	137,481	4.7
	80～84	2,170	3,088	5,258	2.4	104,062	3.6
	85～89	1,299	2,538	3,837	1.7	69,418	2.5
	90～94	362	1,376	1,738	0.8	29,492	1.0
	95～99	102	384	486	0.2	7,683	0.3
	100～	13	75	88	0.0	1,367	0.0
計	18,107	21,866	39,973	18.1	750,927	25.9	
年齢不詳	2,058	943	3,001	1.4	13,362	0.5	
総数	112,882	108,237	221,119	100.0	2,921,184	100.3	

資料：茨城県常住人口調査

(人)



資図1-5 年齢5歳階級別人口構成

#### 4) 産業

産業 3 部門就業者の推移は資表 1-4 及び資図 1-6 に示すとおりです。

本市の第 1 次産業及び第 2 次産業の就業者数は減少傾向にある一方、第 3 次産業の就業者数は増加しており、総就業者数も増加傾向にあります。

特に、第 3 次産業就業者数は大きく増加しており、平成 22 年では全就業者の 69.3%が第 3 次産業に携っています。

平成 22 年における茨城県の構成比と比較すると、第 3 次産業の比率が高くなっており、卸売・小売業、サービス業等の盛んな地域であることがわかります。

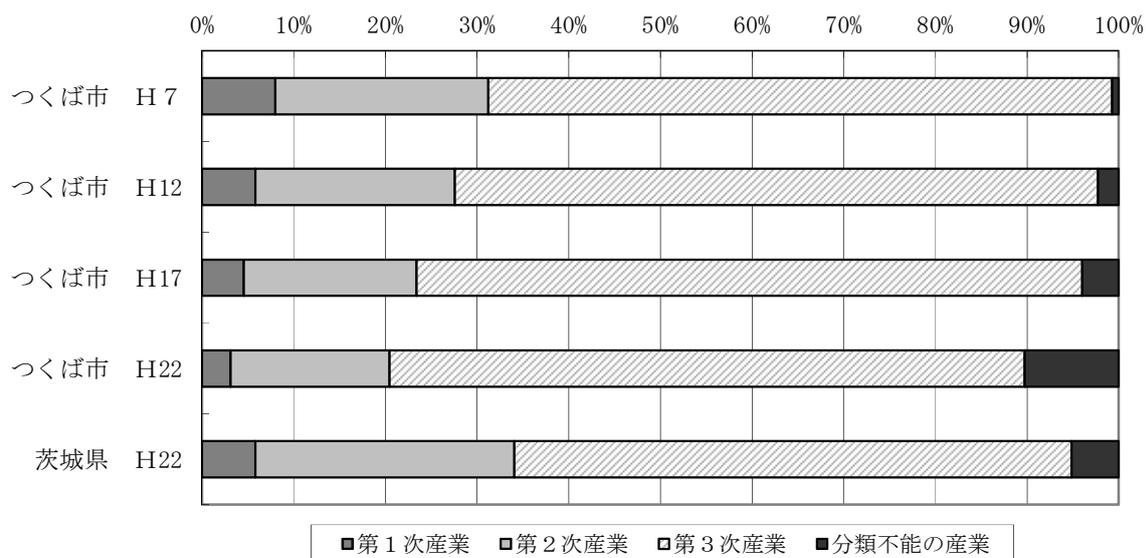
資表 1-4 産業 3 部門就業者の推移

(単位：人)

	H 7	H 12	H 17	H 22	茨城県(H22)
第 1 次産業	7,227 (8.0)	5,388 (5.8)	4,290 (4.5)	3,133 (3.1)	82,873 (5.8)
第 2 次産業	20,995 (23.2)	20,169 (21.8)	17,809 (18.9)	17,268 (17.3)	401,004 (28.2)
第 3 次産業	61,506 (68.1)	64,971 (70.2)	68,602 (72.6)	69,190 (69.3)	863,268 (60.8)
分類不能の産業	640 (0.7)	2,084 (2.3)	3,754 (4.0)	10,274 (10.3)	73,036 (5.1)
計	90,328 (100.0)	92,615 (100.0)	94,455 (100.0)	99,865 (100.0)	1,420,181 (100.0)

注) ( )内数値は、比率(%)を示す。

資料：国勢調査結果報告書



資図 1-6 産業 3 部門別就業者の推移

## 5) 土地利用

地目別土地利用の推移は資表 1-5 に、平成 26 年における地目別土地利用の構成比は資図 1-7 に示すとおりです。

平成 26 年における主な土地利用は、畑や田、山林であり、宅地は全体の 21.4% となっています。

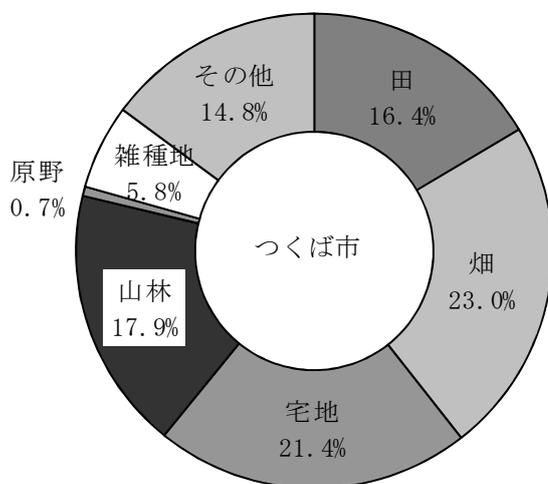
資表 1-5 地目別土地利用の推移

各年 1 月 1 日現在 (単位: 千 m<sup>2</sup>)

	総面積 (構成比)	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
H22	284,070 (100.0)	47,023 (16.6)	67,621 (23.8)	58,705 (20.7)	52,929 (18.6)	1,897 (0.7)	16,498 (5.8)	39,397 (13.9)
H23	284,070 (100.0)	46,939 (16.5)	67,290 (23.7)	59,247 (20.9)	52,689 (18.5)	1,883 (0.7)	16,496 (5.8)	39,536 (13.9)
H24	284,070 (100.0)	46,871 (16.5)	67,040 (23.6)	59,658 (21.0)	52,552 (18.5)	1,988 (0.7)	16,476 (5.8)	39,485 (13.9)
H25	284,070 (100.0)	46,711 (16.4)	65,880 (23.2)	60,020 (21.1)	53,039 (18.7)	1,881 (0.7)	16,572 (5.8)	39,967 (14.1)
H26	284,070 (100.0)	46,637 (16.4)	65,473 (23.0)	60,651 (21.4)	50,933 (17.9)	1,851 (0.7)	16,423 (5.8)	42,102 (14.8)

注) その他には道路、池沼等を含む。  
( )内数値は、比率(%)を示す。

資料: 統計つくば2014



資図 1-7 地目別土地利用の構成比(平成 26 年)